

社会貢献の取り組み

For The Future

「YASKAWA未来クラブ」の活動

当社の社会貢献活動の一環である、YASKAWA未来クラブの活動について、その一部をご紹介します。YASKAWA未来クラブでは、当社の本社がある北九州市の海岸清掃ボランティア活動を実施しました。この活動には北九州近郊事業所のグループ会社従業員及びその家族が参加し、秋晴れに恵まれた休日の午前中に約50名のおとなと子どもが集まり市内の海水浴場を清掃しました。

活動を通じて、海岸をきれいにすることはもちろんのこと、子どもたちに積極的に参加してもらうことで「ゴミを捨てる人」ではなく「ゴミを拾う人」になって欲しいという願いが込められています。

また、参加者の中には、市内に住みながらはじめて市内の海水浴場に訪れた人がいました。きれいに



なった砂浜を眺めながら「家族でまた来よう」と言う方もいて、地域の環境に関心を持つ市内再発見の機会でもありました。

YASKAWA未来クラブでは、趣旨に賛同した従業員の給与の一部を継続して拠出してもらい、集まった資金を「青少年の健全育成」「医療・福祉」「環境保護・緑化運動」に役立てていただいています。寄付活動だけではなく、具体的なボランティア活動を通じ新たな企業文化を創造してまいります。



■お問合せ先: 人事総務部 総務・法務グループ Tel 093-645-8801 Fax 093-631-8837

陸上部NEWS

詳細情報は <http://www.yaskawa.co.jp/activities/track-field/index.html> で公開しています。

駅伝シーズンが終わりました。前半は好調でしたが、後半は残念ながら失速してしまいました。

駅伝前半戦は九州一周駅伝から始まりました。当社から8名の選手が出場し、全員区間賞を獲得。平野護選手は4回走りすべて区間賞、うち1回は区間新記録で大会MVPに輝くなど、当社の選手が福岡県の4連覇に大きく貢献しました。

ニューイヤー駅伝の九州地区予選となる九州実業団毎日駅伝では、旭化成、トヨタ自動車九州との三つ巴の争いとなりました。展開としては、1区で旭化成から大きく出遅れ、2・3区で徐々に追い上げ、4・5区で追いつき並走。6区で先頭に立ち、7区アンカーで旭化成とトヨタ自動車九州にいったん追いつかれるも、絶妙のロングスパートで勝利をものにしました。3年ぶり2度目の優勝です。

後半戦となる本番のニューイヤー駅伝では、選手の調子を合わせることができずベストメンバが組めませんでした。1・2区までは好調だったのですが、3区以降で失速し、挽回の機会がないままに27位の結果に終わりました。

◆2009年10月～2010年1月の主な戦績

日程	大会名	実績
10月 29日～11月 7日	九州一周駅伝	8名の選手が福岡県代表として出場し、全員区間賞を獲得。平野護選手が4回区間賞で大会MVP獲得
11月 23日	九州実業団毎日駅伝	アンカー勝負を制し、総合力で逆転優勝。
12月 6日	福岡国際マラソン	下森直選手が日本人トップの9位。
12月 20日	防府読売マラソン	10kmの部に8名が出場し、上位7位までを独占。
1月 1日	ニューイヤー駅伝 (全日本実業団駅伝)	27位。小畑昌之選手が2区で日本人トップの区間成績。 7区飛松誠選手も区間3位の好走。
1月 11日	朝日駅伝	4位。

続く成人の日恒例の朝日駅伝でも故障者が多数出てしまい、ベストメンバが組めず、4位に沈みました。

一方、個人戦に目を向けると、下森直選手が今シーズン福岡国際マラソン一本に絞り込んで取り組み、見事9位の日本人トップでゴールすることができました。過去7回走ったマラソンの練習内容などを反省し、地道な練習を積み重ねた結果だけに、当社としても感極まるものがありました。

駅伝シーズンが終わり、これからはマラソン、ロードレースなどの個人戦へと舞台を移していきます。次号では、これらの大会結果のうれしい報告ができればと思います、選手・スタッフ一同精進してまいります。

選手の声:

ここ一番に結果を残す、真の実力者になれるように頑張ります。今後も応援お願いします。
中野 良平



九州実業団毎日駅伝で優勝のテープを切る中野良平選手(左) 福岡国際マラソンでゴールする下森直選手(右)